

令和2年度 サロン活動に関するアンケート(西区社会福祉協議会)結果報告

令和2年3月から5月にかけて新型コロナウイルス感染症のために緊急事態宣言が発令され、高齢者交流サロン活動も自粛要請をさせていただきました。緊急事態宣言解除後も感染症対策を講じながらの地域活動は、本当にご苦労されることが多かったと思います。

例年、サロン交流会や年度末報告書事務説明会等を開催しておりましたが、令和2年度は開催することが困難でした。サロンお世話人さんが情報交換をしていただく場を提供できなかったことを、とても残念に思います。

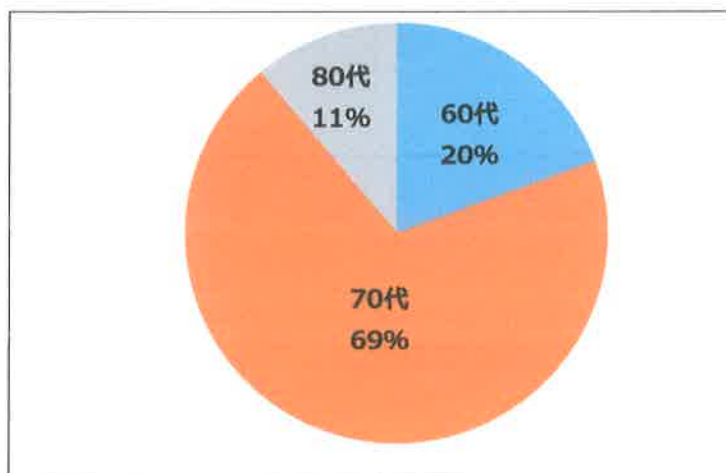
この度、年度末報告書個別相談にご参加いただいた皆さまを中心に「令和2年度 サロン活動に関するアンケート」にご協力いただきました。(有効回答数36)

コロナ禍でのサロンお世話人の皆さまのご苦労や工夫等を、お伺いすることができました。ご協力いただき、ありがとうございました。

これからも新しい生活様式を守りながらの地域活動、サロン活動となることと思います。3密を避けながらの地域活動、サロン活動のご参考になれば幸いです。

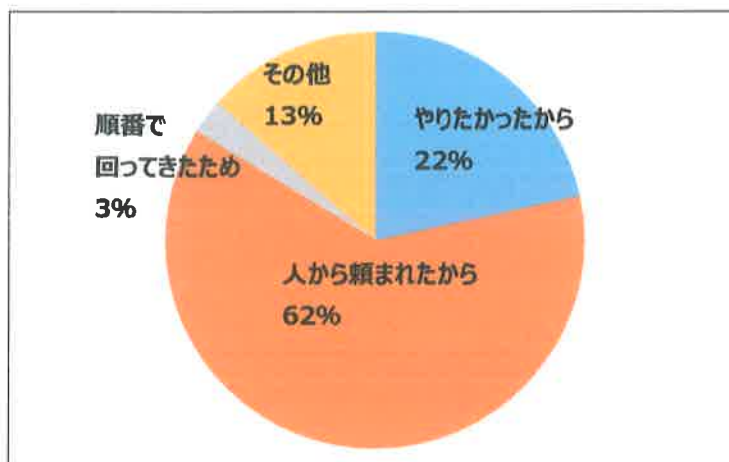
1.基本情報 (年齢)

n = 36

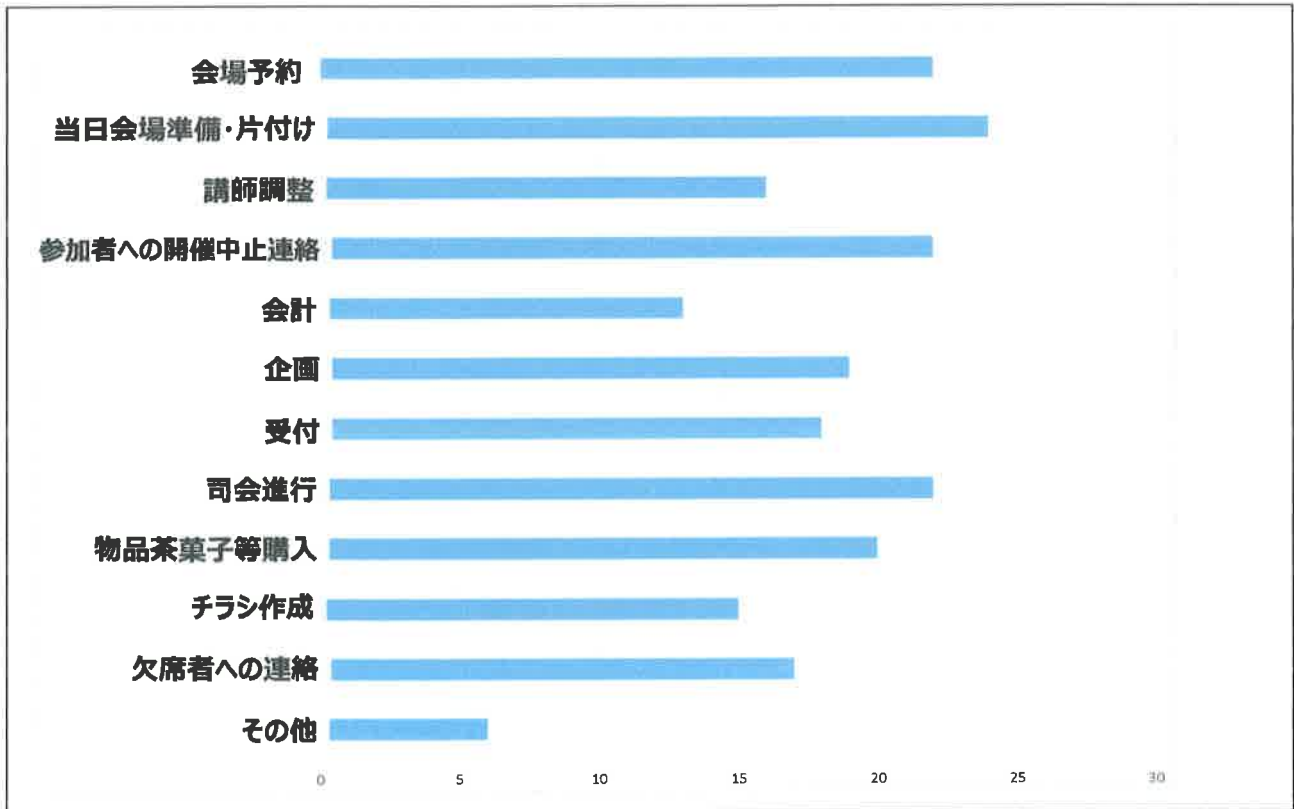


2.世話人となったきっかけは何ですか？(複数回答可)

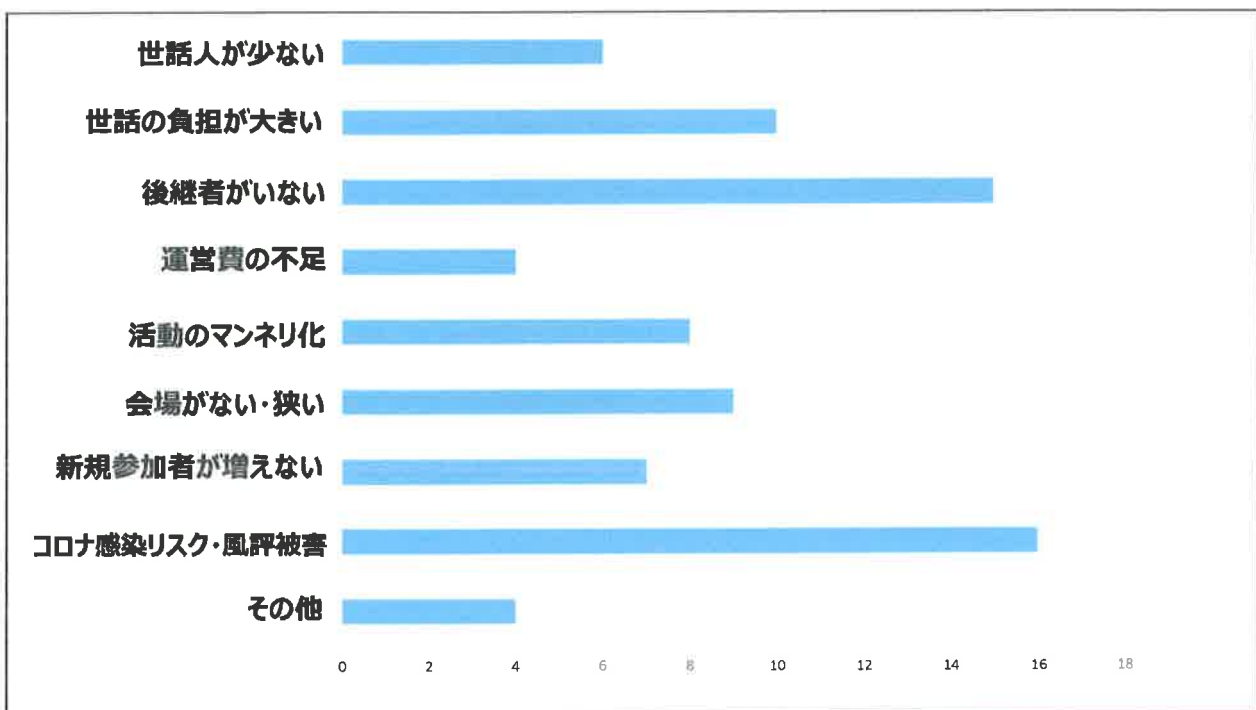
n = 36



3.世話人としてされていることを教えてください。(複数回答可)

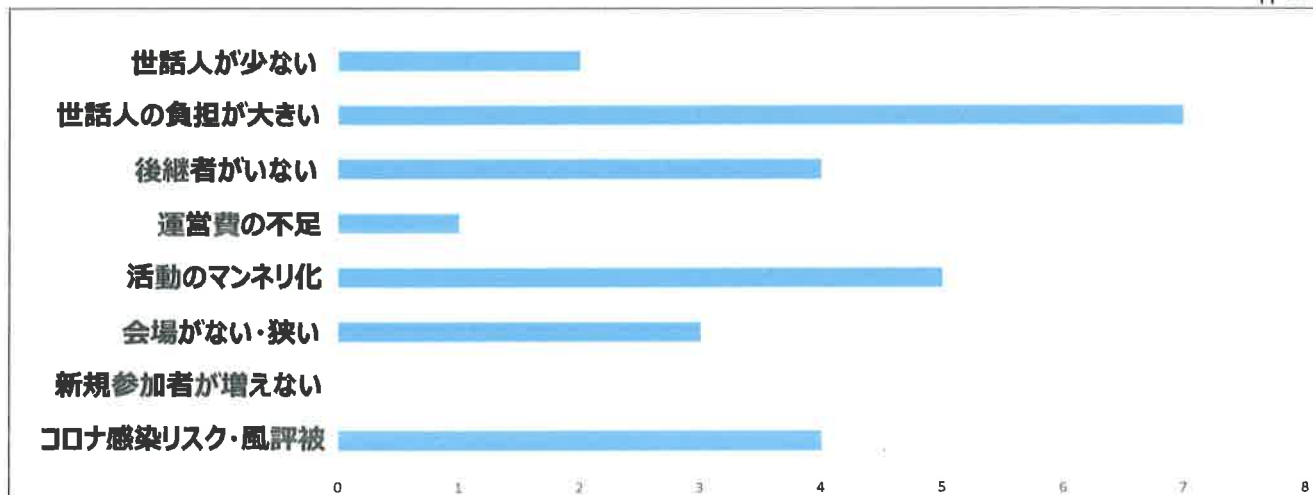


4.サロン活動上の困りごとは何ですか。(複数回答可)



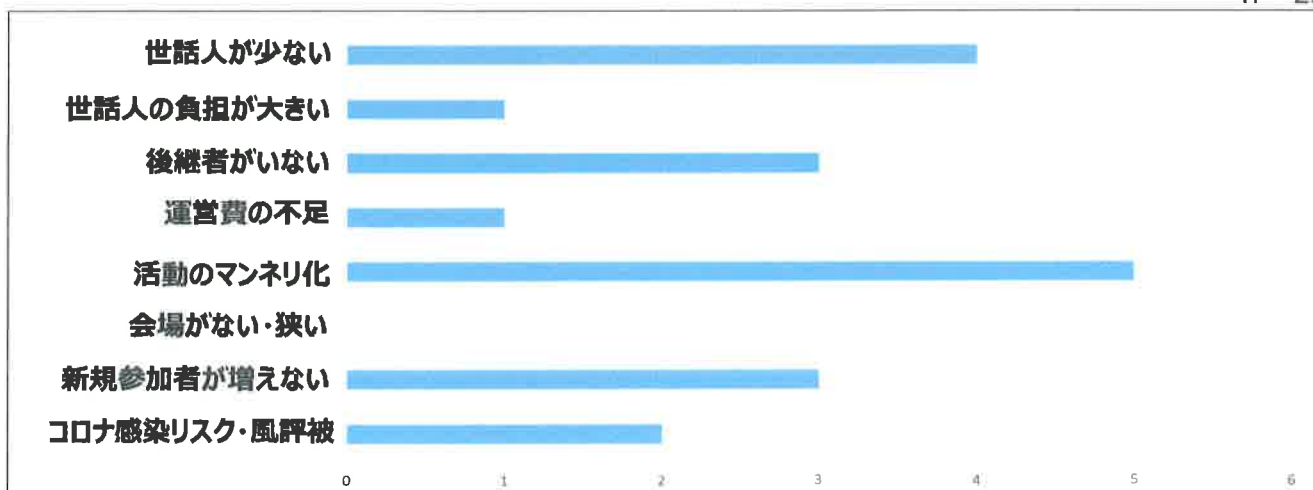
○60代のお世話人のサロン活動上の困りごと（複数回答可）

n = 7



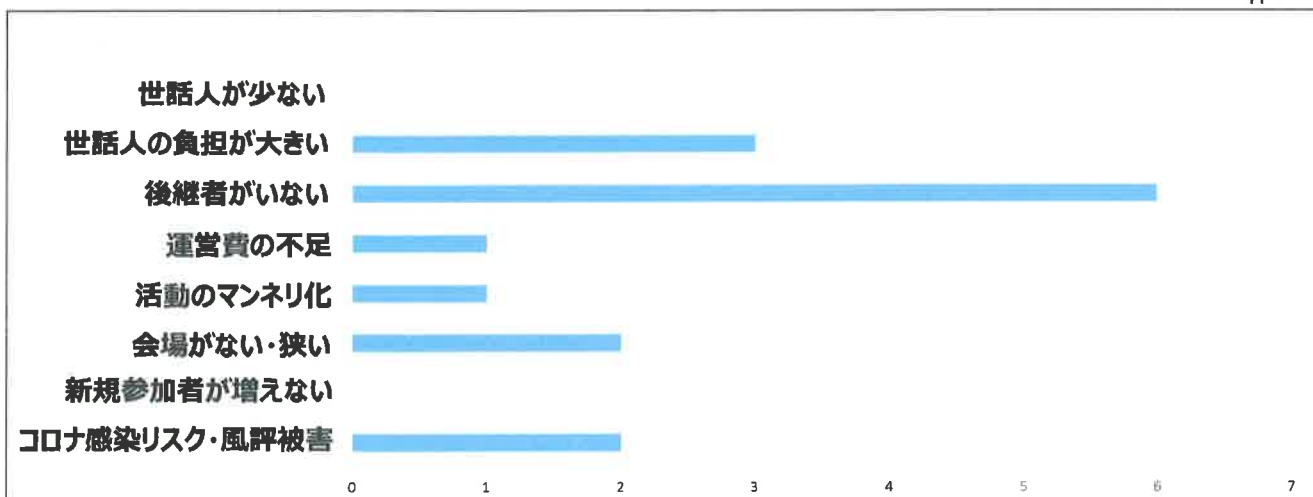
○70代のお世話人のサロン活動上の困りごと（複数回答可）

n = 25



○80代のお世話人のサロン活動上の困りごと（複数回答可）

n = 4



5.コロナ禍で苦労されたことがあればご記入ください。（複数回答有）

（カッコ数字は自由記述にて記載があった数）

連絡について (7)	広島市、社協の要請により自粛を行うタイミングが難しく、会員に連絡が直近にしかできなかった。
	有無の連絡に時間がかかった。（すぐに連絡がつかない人に連絡する事）
	活動ができなくなったことの連絡。
	休みにして再開の時の連絡が大変でした。
参加者が心配 (4)	開催中止となり、参加者のことが心配だった。
	サロン開催ができず、参加者同士のふれあいが難しい。
	お1人暮らしの方の安否が心配でした。
感染対策 (14)	寒い時に感染対策として窓を開け換気扇を回し空気清浄機をつけると、参加者の方から風邪をひきそうだと言われ、どこまですればいいのかと悩んだ。
	アルコール消毒、体温、マスク着用、難しいと思ったがとても皆さんに協力してもらった。
	例年なら年2回ぐらい会食を入れていていたが、できなかったこと。楽しみが半減した。3密を避ける。検温、換気、消毒など感染対策に神経をつかった。
	町内からコロナ感染者でないことを祈る。
	麻雀パイ使用后、その都度アルコール消毒をおこなった。窓を開放し、エアコンを使用するので使用料の負担が増えた。
	会場の換気で室温が保たれない。会員の方の感染がないように気を使う。
運営について (14)	集会所が狭く、2組に分けておこなっている。
	参加人数制限のための調整。
	コロナ禍で参加を自粛される方もあり、事前に参加者数を把握するのが難しかった。
	日々のコロナ情報の収集。ハラハラドキドキの開催。
	集会ができない。
	参加者減少。感染防止対策及び休止が増えたこと。

原文のまま掲載

6. コロナ禍で工夫されたことがあればご記入ください。（複数回答有）

（カッコ数字は自由記述にて記載があった数）

別の 取り組み (12)	ラジオ体操で体を動かさせていただきました。朝のカーブ体操（ちゅぴコム）でする方もいらっしゃいました。
	各自で散歩したり考えていた方を数人お見かけしました。
	スーパー等で参加者のかたにお会いしたら、体調を尋ねたり困っていることはないかお聞きした。
	包括の方からプリントされたのを配って自宅で参考にして実施してもらった。
	パーティションの設置。会食のため中止となり、持ち帰りの実施。
	ソーシャルディスタンス、弁当は持ち帰りにしました。
	家庭でもできる簡単な体操チラシ（包括、社協）を配布。
	場所を借りしている施設と相談し、ゲストを迎えての気分転換に人数制限、短時間の催しをデイサービスセンターに入れてもらい、デイの手遊び等を一緒にして小さなサロンを久しぶりに喜ばれた。
回数を 増やす (3)	参加者人数制限のため回数を増やした。3回→5回
	二部制実施。
連絡の 工夫 (5)	活動できなかった時、会場に中止のお知らせを門扉に書き、休止を知らせた。主役員で連絡表を作り、電話した。
	コロナ禍でサロンが開けない時、フレイルが気になり病気があったり、手術予定のあった方はメールをし、後の方にはなるべく電話をした。
	7/1～3/31の間、現実にはサロンの実施ができませんでした。毎回参加されている方に計6回電話連絡し、健康状態を聞きました。
情報提供 (5)	あらゆる機会をとらえ、コロナ新生活様式を啓蒙。
	家庭でもできる簡単な体操チラシ（包括、社協）を配布。
	市からのお知らせ配布。
感染症 対策 (6)	感染対策しっかり行うことは、会員の安心感にもつながっている。感染対策も会員が理解してくださり、協力的であった。
	カラオケマイクを3本用意し、消毒しながら使用した。
	ソーシャルディスタンス、弁当は持ち帰りにしました。
	感染防止対策（マスクの手当て）

原文のまま掲載

7.その他、ご意見、ご要望。(複数回答有)

補助金に 関して	<p>コロナの感染対策など衛生面に費用がかかった。広島市の補助金があるので、運営上とても助かっている。</p>
	<p>今回で補助金3年目となりその後の活動日の不足が発生すると思われる。食費の値上がり、消毒、衛生用品の出費もある。参加者さんの会費はあげたくないため、そのほかの補助があれば知りたいです。よろしくおねがいします。</p>
	<p>スポーツ安全保険に加入申しましたが、4/1以降の支払いでないとダメと言われ解約してきました。今年度の予算で次年度の保険加入させてほしい。</p>
	<p>1年に1回でも健康体操、認知症予防体操、講座を公費（助成金）で開始できるようになれば助かります。</p>
	<p>高齢者の利用で閉じこもりが予防になる運動なので、広島市はスポーツセンター広場の利用は無料にしては。</p>
	<p>何もなしサロンと言われていましたが、今回の補助金でピアノカ、ホワイトボード、タンバリンと道具が揃い、コロナが早く解決すれば道具が生きると思います。</p>
人材育成	<p>次期の後を任せる人材育成がなかなか進まない。現在は世話人の年齢が高いため若い方を…。</p>
	<p>会員全員が当番制になっていて、スタンプ押印会場のセットは責任をもってされているので、世話人の負担が少ないです。新規会員を増やす呼びかけをしたいのですが、場所が今ちょうど良い人数なので呼びかけはしていません。</p>
運営につ いて	<p>初めて日曜日にやってみたら思いのほか病院等なく、参加しやすいようです。コロナ終息したら体操とサロンで仲間づくり（顔見知り）を本格的に誰もが楽しい時間を元気に過ごせるように…。</p>
	<p>コロナの中、広島でコロナの感染者が増えてサロンを中止になった時はお早めにお知らせください。</p>
	<p>マンション管理組合で高齢者に安全な椅子を20脚購入していただきました。</p>
	<p>不要不急の外出を控える通知が出る「カラオケ」のような趣味の色合いが強い内容は遠慮がちになる。かといって歌わないで楽しむことができない中、本当に苦労しました。</p>
	<p>公共施設が少ないため、会場の確保が困難です。民間の施設を使用すると経費の問題（個人負担の限界）があります。百歳体操は高齢者の健康維持とふれあいに非常に効果があり、今後も継続できる方策があれば良いと思います。</p>
その他	<p>全町内へ向けての広報のやり方。</p>
	<p>2018年から地域高齢者の見守りを兼ね、多くの人と共有したいと活動をしてきました。活動が認められれば他団体の協力も得られると期待していましたが無理解でした。昨年度のコロナ禍での活動休止に続き、今年4月からも休止と決めました。</p>

原文のまま掲載

サロン活動の困りごとについて 所感

全体の集計結果を見ると「コロナ感染リスク・風評被害」回答が一番多いが、60代、70代、80代となるにつれ「コロナ感染リスク・風評被害」回答は低くなっています。また年代別にみると60代は「世話人の負担が大きい」といった回答が多く、70代80代は「世話人が少ない」「後継者がいない」といった回答が多く、どの世代でも、世話人の負担が大きいことと、担い手不足の問題がうかがえます。

コロナでの苦勞、工夫 所感

自由記述で回答をいただきました。数多くみられたご意見は「感染対策」「運営について」でした。コロナ禍でのサロン運営について、世話人の皆様がいかに心を配られていたかがうかがえます。

こうしたコロナ禍でのサロン運営について、ご回答が多いのは予想がつく回答ではありましたが、なかでも非常に興味深かったのは「連絡について」の回答が多かったことです。緊急事態宣言発令や解除により参加者へこまめに連絡を取ることが多くなり、そこがご苦勞であったという点です。連絡網作成やインターネット活用など大勢の人に連絡が行き届く手段を普段から考えておく必要があるのではと感じました。参加者の中にはスマホを所持されない方も多いと聞きます。毎月の支払い等もあるので安易に普及を進めていくものではありませんが、「こうした方法もある」ということを広報していくことも世話人の皆様の負担軽減につながるのではと感じました。

しかしコロナ禍でもすでにこうした連絡方法を工夫されたり、別の取り組みをされたり、開催方法を柔軟にされている団体もおられました。集まらずにできる方法を模索されたり、見守りをされたり、情報提供をされたりと世話人の皆様がいかに工夫をされていたかがうかがえます。他の団体の取り組みをぜひ参考にしていただけたらと思います。



おわりに

令和2年3月からの新型コロナウイルス感染拡大により、サロン活動が自粛となりました。そのためサロン活動の自粛を余儀なくされる事態となりました。しかし、こうした中で「いかにサロン活動が大切であるか」が改めて認識できる機会となったことも事実です。

令和3年度となり新型コロナウイルスワクチン接種も少しずつ進んでいます。しかし、大勢で集まってサロン活動を行うことは、今までのようにいかないかもしれません。新しい生活様式を取り入れ、気をつけながらサロン活動を行っていく必要があると感じます。

「サロンがないけ、いくところがないんよね。」「最近あの人見かけないけど、どうしよるんかね。」といった地域のよりどころや見守りを兼ねている場となっている皆様のサロン。活動をされていくなかで、ご苦労も多いと思います。皆様の活動をこれからも応援していきたいと思っております。小さなことでもご相談いただければ幸いです。

広島市西区社会福祉協議会

生活支援コーディネーター 三角京子 吉村翔吾